

取り付けと接続

取り付け部品の確認（付属品）

① 取り付け金具
×4

② ネジ
φ5×20
×8

③ ネジ
φ5×20
×8

④ 両面テープ

⑤ ネジ
φ3×12
×2

⑥ 電源コード

⑦ リモート延長コード
5.5m（青）

⑧ 電源延長コード
7m（黄）

⑨ 保護スリーブ

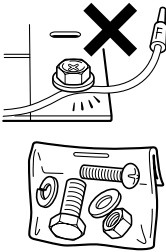
⑩ ギボシ端子（メス）

⑪ スピーカーコード
5m（白、灰）

⑫ 圧着式コネクター
×4

⑬ 中継コネクター
×4

- ビス・ナット類
- 必ず付属のビス類をお使いください。
 - ビスやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。
 - 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
 - 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
 - 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器はすべて別売品です。ただし、付属品は除きます。

取り付ける前に

- 車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けてください。
- ヒーター吹き出し口の近く、直射日光の当たる場所などは、故障の原因になりますので取り付けないでください。
- 取り付け場所にネジ穴をあけるときは、裏側に何も無いことを確かめてから作業してください。
- 本機は、DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）でのみ動作します。
- 他のカーオーディオ機器と干渉し合うことがあります。このような場合は、他の機器から50cm以上離して設置してください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光下で放置すると、車内は相当な高温になります。そのようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本機の放熱孔をカーペットなどでふさがないように、本機は水平に取り付けてください。
- 本機に電気が供給されない場合は、接続を確認してください。
- 本機は、オーバーヒート時やアンプ部に不具合があったときにトランジスターやスピーカーを保護するための保護回路*を搭載しています。保護回路をテストしようとして回路に余分な負荷をかけたりしないでください。
- 弱ったバッテリーで本機を動作させないでください。本来の性能を発揮することができません。
- 安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本機の内部は高温になりますので、パスレフポートに指などを入れないでください。
- スピーカー振動板に触れないでください。

* 保護回路

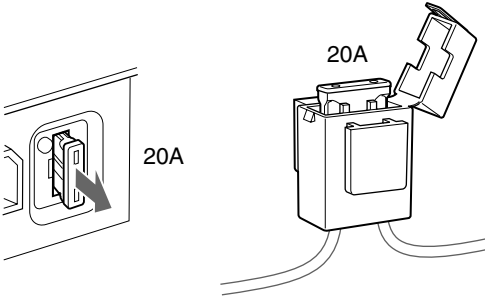
本機には、直流電流が発生したり、アンプ部がオーバーヒートしたときに作動する保護回路を搭載しています。保護回路が作動するとPOWER/PROTECTORインジケーターが緑色から赤色に変わり、本機の動作を停止します。

保護回路が作動して本機が動作を停止した場合は、接続している機器の電源を切って、接続を確認してください。本機がオーバーヒートしていると考えられる場合は、本機の温度が下がってからご使用ください。

ヒューズ交換

ショートしたときや本機に故障があるときは、ヒューズが切れ本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、同じ規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金などで代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

交換したあとすぐ切れる場合はお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。



取り付けボードについてのご案内

本機を安全に取り付けるために必ず取り付けボードを使用してください。取り付けボードは18mm以上の厚さの市販の板をご利用ください。

本体の取り付けかた

取り付け金具を利用する場合

1 取り付け金具①をネジ②で固定します。

2 本体を取り付けボードにネジ③で固定し、電源コード⑥を接続します。

① 取り付け金具①のL字型に立っている部分を、本機側面にあるかたちでネジ②で止めます。

③ 取り付けボード

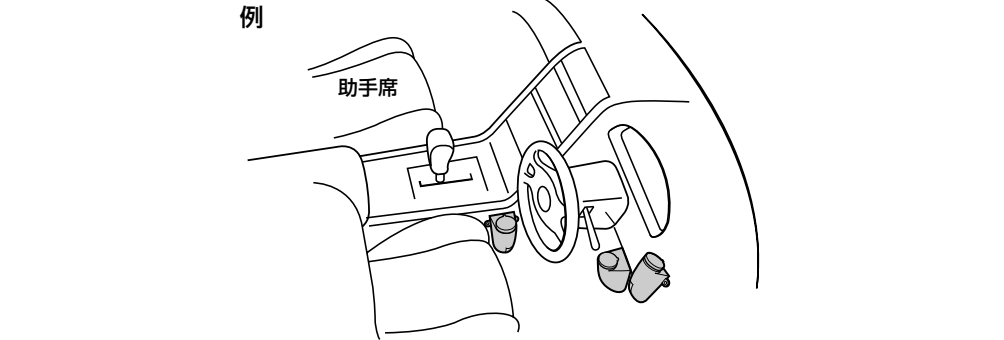
⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

リモートレベルコントローラーの取り付けかた

ステアリングや、シフトレバー、ブレーキペダルの操作、または、エアバックの動作の妨げとならない場所に取り付けてください。



1 リモコン裏面に両面テープ④を貼りつけます。（④を貼りつける面のゴミ、ホコリ等を取り除いてください。）

2 リモートレベルコントローラーをセンサーコンソールやダッシュボードの下などに両面テープ④で仮止めし、ネジ⑤で取り付けます。

3 電源コード⑥のリモートレベルコントローラー端子を接続します。

④ 両面テープ

⑤ ネジ

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモートレベルコントローラー

⑪ リモート入力

⑫ ハイレベルインプットR

⑬ ハイレベルインプットL

⑭ リモート延長コード

⑮ 電源延長コード

⑯ 保護スリーブ

⑰ ギボシ端子

⑱ スピーカーコード

⑲ 圧着式コネクター

⑳ 中継コネクター

㉑ バスレフポート

㉒ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

接続する前に 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

- 本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。
- 万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けのある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。
- RCAピンコードやスピーカーコード、リモートレベルコントローラー用コードは電源コードを近づけて配線するとノイズが出る場合がありますので、できるだけ離して配線してください。
- 接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- シガレットライターより電源をとることは、おやめください。事故の原因となります。

ご注意

- コード類を配線するときは、クランバーや粘着テープなどで固定してください。金属のバリ部分などと接触する場合は必ず粘着テープなどでコードを保護してください。
- コード類は、ヒーターの吹き出し口の近くなどの高温になる場所を避けて配線してください。
- 電源コードは、指定されたとおり正しく配線してください。配線を誤ったり、確実に接続をしないと、雑音の原因になるだけでなく正しく動作しません。

電源コードの色分け

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモート延長コード

⑪ 電源延長コード

⑫ 保護スリーブ

⑬ ギボシ端子

⑭ スピーカーコード

⑮ 圧着式コネクター

⑯ 中継コネクター

⑰ バスレフポート

⑱ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑲ リモートレベルコントローラー

⑳ リモート入力

㉑ ハイレベルインプットR

㉒ ハイレベルインプットL

㉓ リモート延長コード

㉔ 電源延長コード

㉕ 保護スリーブ

㉖ ギボシ端子

㉗ スピーカーコード

㉘ 圧着式コネクター

㉙ 中継コネクター

㉚ バスレフポート

㉛ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

電源接続

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモート延長コード

⑪ 電源延長コード

⑫ 保護スリーブ

⑬ ギボシ端子

⑭ スピーカーコード

⑮ 圧着式コネクター

⑯ 中継コネクター

⑰ バスレフポート

⑱ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑲ リモートレベルコントローラー

⑳ リモート入力

㉑ ハイレベルインプットR

㉒ ハイレベルインプットL

㉓ リモート延長コード

㉔ 電源延長コード

㉕ 保護スリーブ

㉖ ギボシ端子

㉗ スピーカーコード

㉘ 圧着式コネクター

㉙ 中継コネクター

㉚ バスレフポート

㉛ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

㉜ リモートレベルコントローラー

㉝ リモート入力

㉞ ハイレベルインプットR

㉟ ハイレベルインプットL

㊱ リモート延長コード

㊲ 電源延長コード

㊳ 保護スリーブ

㊴ ギボシ端子

㊵ スピーカーコード

㊶ 圧着式コネクター

㊷ 中継コネクター

㊸ バスレフポート

㊹ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

ご注意

- +12V電源は、他のすべての接続が完了してから接続してください。
- アース用コードは、車体の金属部分に確実にアースしてください。確実にアースしないと本機の故障の原因になることがあります。
- 電源延長コード⑥を車体（防火壁）に通す場合は、車体に直径7.4mmの下穴をあけた上で必ず⑨に付属のゴムフッシュをお使いください。
- エンジンルーム内に電源延長コード⑥を配線する場合は、市販のスパイラルチューブ、結束バンド等で確実に保護、固定してください。

システムの接続例

接続例1
ラインアウトのあるカーオーディオの場合

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモート延長コード

⑪ 電源延長コード

⑫ 保護スリーブ

⑬ ギボシ端子

⑭ スピーカーコード

⑮ 圧着式コネクター

⑯ 中継コネクター

⑰ バスレフポート

⑱ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑲ リモートレベルコントローラー

⑳ リモート入力

㉑ ハイレベルインプットR

㉒ ハイレベルインプットL

㉓ リモート延長コード

㉔ 電源延長コード

㉕ 保護スリーブ

㉖ ギボシ端子

㉗ スピーカーコード

㉘ 圧着式コネクター

㉙ 中継コネクター

㉚ バスレフポート

㉛ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

接続例2
スピーカー出力のみのカーオーディオの場合
（フロントあるいはリアスピーカーの左右のコードより分岐）

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモート延長コード

⑪ 電源延長コード

⑫ 保護スリーブ

⑬ ギボシ端子

⑭ スピーカーコード

⑮ 圧着式コネクター

⑯ 中継コネクター

⑰ バスレフポート

⑱ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑲ リモートレベルコントローラー

⑳ リモート入力

㉑ ハイレベルインプットR

㉒ ハイレベルインプットL

㉓ リモート延長コード

㉔ 電源延長コード

㉕ 保護スリーブ

㉖ ギボシ端子

㉗ スピーカーコード

㉘ 圧着式コネクター

㉙ 中継コネクター

㉚ バスレフポート

㉛ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

*2 中継コネクターの使いかた

1 電源コード⑥のハイレベルインプットL、Rのビニールに切り込みを入れ、芯線を出す。

2 スピーカーコード⑩の先端を引き抜く。（⑩の片側先端には、すでに切り込みが入っています。）

3 コードの先端を折り曲げ、中継コネクター⑬に差し込む。

4 圧着ペンチ（コネクター用）で、2か所圧着する。

⑥ 電源コード

⑧ バスレフポート

⑨ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑩ リモート延長コード

⑪ 電源延長コード

⑫ 保護スリーブ

⑬ ギボシ端子

⑭ スピーカーコード

⑮ 圧着式コネクター

⑯ 中継コネクター

⑰ バスレフポート

⑱ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

⑲ リモートレベルコントローラー

⑳ リモート入力

㉑ ハイレベルインプットR

㉒ ハイレベルインプットL

㉓ リモート延長コード

㉔ 電源延長コード

㉕ 保護スリーブ

㉖ ギボシ端子

㉗ スピーカーコード

㉘ 圧着式コネクター

㉙ 中継コネクター

㉚ バスレフポート

㉛ バスレフポートをふさがないように本体を取り付けてください。

ご注意

車両側スピーカーコードが細い場合、接触が不充分になることがありますのでご注意ください。